

## 人工衛星設計基礎論 2025（特別編）

### ～ 宇宙プロジェクトから学ぶ、システムズエンジニアリング入門 ～

#### 『アイデアを生み出す思考と実装方法の考え方を身につける2日間』

近年の宇宙プロジェクトは大規模化・複雑化が進み、分野や国境を超えて多くの組織や専門家が連携し、革新的なアイデアを実現しています。

今回行うワークショップでは、実際の宇宙プロジェクトに応用可能な、アイデアの発想方法から具体的な設計の進め方までを実践的に学びます。宇宙旅行や人工衛星開発などをテーマに、革新的なアイデアを生み出すプロセスや、それらを実際に実現可能なプランへと展開する手法をチームで体験します。演習では、宇宙以外の身近な題材を導入することで、システムズデザインの考え方をより理解しやすく構成しています。参加者同士の創造的な議論を通じて、一人では思いつかなかったような新しいアイデアを生み出すコツを身につけることができます。宇宙プロジェクトのエッセンスを凝縮した特別な2日間で、プロジェクト推進や新規事業の立ち上げにすぐに活用できる実践的な思考力と計画力を高めましょう。企業の方々はもちろん、大学関係者や学生の皆さんにとっても、実践的なプロジェクト設計やチームでの創造的な思考を体験できる機会となります。

本ワークショップでは、自動車業界や航空宇宙業界で普及し始めており、トヨタやNASAのアルテミス計画などでも利用されている最新のものづくりの方法論であるモデルベース・システムズエンジニアリング（MBSE）（※）のエッセンスを学ぶことで、複雑なプロジェクトを整理し、全体を見渡して効果的に進めるためのシステムの視点を養うことができます。

#### ◆ 日 時：

第1日目 令和7年8月29日（金） 13:00 – 17:00

第2日目 令和7年9月2日（火） 13:00 – 17:00

※どちらか片方の参加も可能です。

#### ◆ 場 所：福井県工業技術センター 研修棟2階 講堂

#### ◆ 対 象：宇宙分野に関心を持つ県内企業の技術者や学生

#### ◆ 費 用：無料

#### ◆ 内 容：MBSEに関する演習（全2日間）

（監修：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授 白坂成功）

第1日目：多様な人材とともに、ミッションのアイデアを創出する方法を体験

第2日目：創出したアイデアを、システムズエンジニアリングによって実現していくプロセスを体験

#### ◆ 募集人数：20名程度

◆ 講 師：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科白坂成功研究室  
田中康平、猪股涼也、伊藤翼

◆ 主 催：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科白坂成功研究室  
福井大学産学官連携本部、ふくい宇宙産業創出研究会

◆ 申込方法：

右記の QR コードのアクセス先から、お申し込みください。

メールにて申し込みする場合は、f-space@pref.fukui.lg.jp までご送信ください。



◆ 募集締め切り：令和 7 年 8 月 22 日(金)

◆ 問い合わせ先：

ふくい宇宙産業創出研究会（事務局 福井県工業技術センター） 担当：千代、岸本

電話：0776-55-0664 / F A X：0776-55-0665 メール：f-space@pref.fukui.lg.jp

※モデルベース・システムズエンジニアリング（MBSE）

MBSE とは、複数の専門分野を統合し、製品やサービスの設計・管理を行うシステムズエンジニアリングの手法の一つです。図やモデルを活用してシステム全体を可視化・共有しながら進めることで、複雑な開発において期待される性能や品質を確保し、品質向上や開発効率の改善を図る考え方として注目されています。

※参加にあたってのご留意事項

このワークショップは、令和 6 年度宇宙航空科学技術推進委託費にて採択された「MBSE を活用する宇宙アーキテクト育成プログラム」の一環として行われます。

そのため、本ワークショップで得られた成果や参加者の取り組み内容、写真については、今後の対外発表（報告書、講演、論文等）に活用させていただく場合があります。

【慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科の紹介】

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科は、複雑かつ多様な社会課題を解決するために世界をシステムとして捉えて新しい価値を創出する人材の育成を行っているシステムズエンジニアリングを基盤とした世界的に希有な大学院です。システムデザイン・マネジメント学についての理論的教育とプロジェクトを通じたマネジメントの実践的教育、また、それに基づいた研究を国内外で実践しています。それらの取り組みによって社会変革をリードする先導者となる人材を育成しています。